

「遅い」「カクカクする」で、もう悩まない 高速5G回線を使ったインターネットで テレワーク環境の改善を

株式会社NTTドコモ

コロナ禍の中、自宅でのテレワークが不可欠になっている人も多いはず。しかし、その時課題となることが多いのが、仕事をするスペースと通信環境。ここでは後者の解決を実現する、第5世代移動通信システム「5G」を使うICTを紹介します。



営業本部
光ブロードバンド
事業推進部
サービス企画
担当部長
滝澤 暢氏



営業本部
光ブロードバンド
事業推進部
販売企画担当課長
斎藤 嘉平氏

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、最初の「緊急事態宣言」が発令されたのは昨年4月7日でした。これに前後して、人々の接触機会を減らすためテレワーク導入に踏み切る企業が増え、今もその状況が続いています。

しかし、会社とは異なる在宅のテレワークでは「通信環境」について、多くの人々が課題と捉えていることが、調査結果からも明らかになっています(図1参照)。

新しいモバイル通信規格「5G」が、テレワーク環境改善の切り札に

【図2：回線別の方式と特徴】

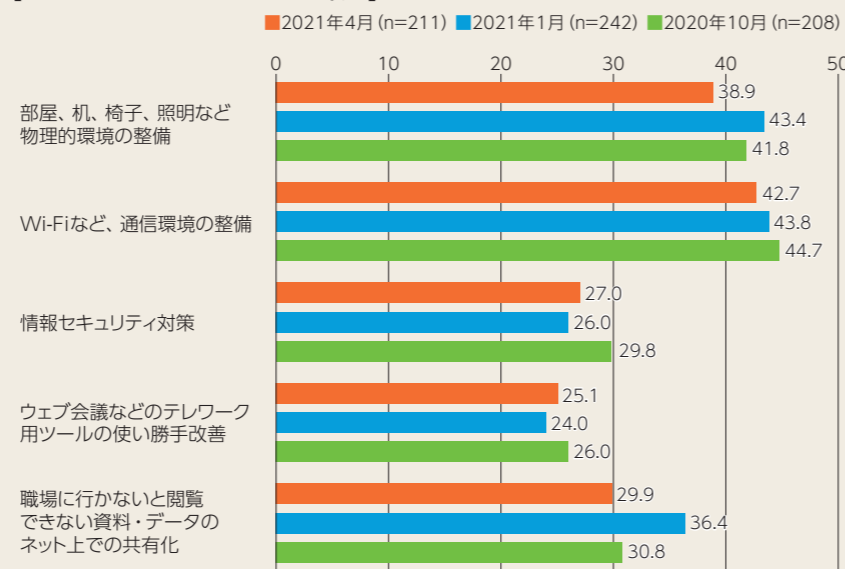
回線の種類	方式	特徴
光回線	自宅内まで光回線を引き込む方式	<ul style="list-style-type: none"> 安定した高速通信(1ギガの場合、理論上最大1Gbps程度)が得られる 開通工事が必要。集合住宅では設備の制約により引き込み不可能な場合あり 10ギガなどより高速なプランもあり
VDSL	集合住宅に引き込んだ光回線から分配し、建物内の電話線(メタル線)を利用し各戸に引き込む方式	<ul style="list-style-type: none"> 電話線(メタル線)があれば集合住宅でも利用できる 開通工事が必要。通信速度は最大100Mbpsと光回線に比べ低速
モバイル機器	スマートフォンのテザリング、モバイルルーターなどを利用する方式	<ul style="list-style-type: none"> 手持ちの機器を自宅でそのまま利用できる 月間のデータ利用量制限がある場合がある
home 5G	モバイル回線網において据え置き型ホームルーターを利用する方式	<ul style="list-style-type: none"> 工事不要でコンセントに挿すだけでWi-Fi環境が整う 定期契約や解約金の設定がないシンプルなプラン

この課題の解決には、光回線に代表される高速インターネット回線の導入が早道です。しかし、光回線の導入には工事が必要であること、また、設備の問題から光回線の引き込みができない集合住宅もあることなど、利用が困難であるケースも少なくありません。しかし光回線以外のインターネッ

ト利用は、速度の面などで大きな不利があります(図2参照)。

ところが今、こうした課題を解決する答えとして、これまで主流だった「4G(LTE)」に比べ、より高速・大容量での通信が可能な新しい無線通信規格「5G」を使った家庭向け高速インターネット回線が注目を集めています。携帯電

【図1：テレワークにおける課題】



「Wi-Fiなど、通信環境の整備」をテレワークの課題と捉える人は、この1年を通じ約4割と高止まりしており、解決が進んでいないことが分かる。誰もが光回線を引き込めないことに、その一因がありそう。

【出典：第5回 働く人の意識に関する調査(公益財団法人 日本生産性本部)】

話各社は5Gのネットワーク構築に力を注いでおり、その利用エリアは少しずつ広がっています。この5Gを利用すれば、光回線のように引き込み工事を行うことなく、手軽に高速インターネット回線を使えるようになるのです。

コンセントに挿すだけ、定期契約や解約金の設定がなく気軽に利用開始

この5Gを使った「イエナカ」でのインターネット接続サービス「home 5G」を発表したNTTドコモは、その特長を以下のように語ります。

「『home 5G』は、対応機種を電源に接続し、5Gの高速インターネット回線が利用できるサービスです(図3参照)」(滝澤氏)

「最大のポイントは、工事が不要ですぐに使えるところです。パソコンとは最速1.2GbpsのWi-Fi6をはじめとする無線LAN、もしくは有線LANでの接続が可能です。料金は月々4,950円で、定期契約や解約金の設定はありません」(斎藤氏)

このサービスを提供する背景には、お客さまの声に答えたいという思いがあったそうです。

「お客さまから『Wi-Fi環境を手軽に整えたい』という声を多くいただきました」(滝澤氏)

「申込み後すぐに利用したい、工事が煩わしいといったご要望にお応えできるサービスとなっておりますし、必要な期間が終了したらすぐ解約できます。単身赴任や長期出張など、あらかじめ居住期間が定まったご住所でも契約期間や解約金を気にすることなくお使いいただけます」(斎藤氏)

データ利用量無制限で、テザリング^{※1}やモバイルルーター^{※2}よりも有利

そして現在、自宅のパソコンをスマートフォンやタブレットのテザ

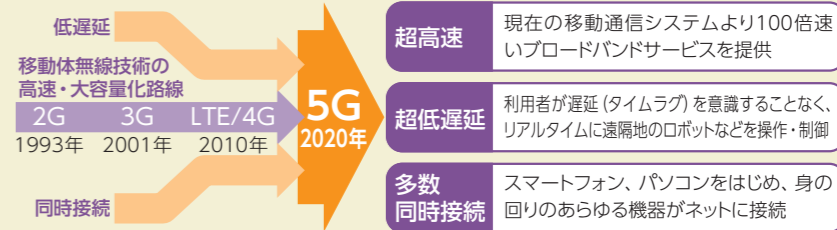
【図3：home 5Gの仕組み】



※5Gでの通信は、5Gエリアに限ります。

NTTドコモの「home 5G」は、専用の端末「HR01」をコンセントに挿すだけで5G回線の高速インターネットが利用できる。サービス開始は8月下旬予定で、ドコモショップや家電量販店などで申し込む。

コラム 新たな通信方式「5G」がもたらす未来とは



【出典：令和2年版 情報通信白書】

2020年3月に商用利用がスタートした「5G」は、「超高速・超低遅延・多数同時接続」という特長を持ち、これまでの「4G(LTE)」では実現できなかったロボットの遠隔操作、膨大な数のセンサーを接続しての計測や制御などが現実のものとなります。「光回線の代替としての家庭向け5G」は、動画配信など、超高速通信を使った消費者向けサービスの普及にも大きく役立つでしょう。

リング、モバイルルーター経由でインターネットに接続し、テレワークに使っている人にも大きなメリットがあるそうです。

「モバイル機器には月々のデータ利用量制限が設けられている場合もありますが、『home 5G』はデータ量無制限なので、データ量が多くなるビデオ会議などでも安心です。Wi-Fi6非対応のものもあるモバイル機器に比べ、Wi-Fi6対応の『home 5G』は無線LANの速度面でも有利です」(斎藤氏)

「また『home 5G』は4Gエリアにも対応しています。こちらも最速1.7Gbpsの通信が可能ですので、5Gへの対応がこれからというエリアにお住まいのお客さまにも十分にご活用いただけると考えています」(滝澤氏)

サービス提供の開始は現時点で8月下旬予定とアナウンスされています。社員

の自宅テレワーク環境に課題を感じている企業の方々には、こうした5Gを使ったICTの導入を検討されてはいかがでしょうか。

※1 テザリング:スマートフォンなどのデータ通信を利用して、パソコンやタブレット端末、ゲーム機器などをインターネットに接続すること。Wi-Fiがない場所でも通信できるスマートフォンがあれば、そのスマートフォンがWi-Fiルーターの代わりとなり、パソコンなどほかの機器でもインターネットが利用できるようになる。

※2 モバイルルーター:電子機器をインターネットに接続するための機器のこと。



●会社概要
 会社名: 株式会社NTTドコモ
 創業: 1992年(平成4年)7月1日
 本社所在地: 東京都千代田区永田町2丁目11番1号 山王パークタワー
 代表取締役: 井伊 基之
 資本金: 9,496億7,900万円(2020年3月31日現在)
 事業内容: 通信事業、スマートライフ事業、そのほかの事業
 URL: https://www.nttdocomo.co.jp/
 【ユーザ協会賛助会員】

ユーザ協会 D10013 検索

